
三人のHawk

チョボロン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三人のHawk

【Nコード】

N5009BA

【作者名】

チヨボロン

【あらすじ】

俺はなんでも屋をやっている高校生21歳だ（笑）高校生ライフサイコー！っと思いつながら高校最後の修学旅行で俺は事故に合う、俺は死んだ・・・っと思いきや俺は森の中で倒れていた！そして物語は動き出す！！

プロローグ（前書き）

この小説は受験生であるにもかかわらず暇な中学生が書いたものです
言葉がなっていないかもしれませんが
見てくれたら幸いです

そして世界を救うのはなんでも屋！？を改良したバージョンです
ではどうぞ「三人のH a w k」

ブローグ

？「ダウト！！」

親友が出した7の次のカードで俺は叫んだ！

俺は赤城良

あかぎりよう

高校3年生なのに18歳と年齢をだまして高校生をやっている21歳だ

出身地は京都、なんでも屋をやっている男だ！

なんでも屋って何ってか？

ひとつは銀 に憧れたからだ

仕事は簡単、銀 と一緒だw

これは秘密で独自でやっている、学校にバレないように・・・
最近の大きな仕事は最近勢力を伸ばしているヤクザの組織を潰した
ことかな

1万人位軽いつて（笑）
なぜって？

簡単だよ俺の一家が我流の剣術（二刀流赤木流）をやっている
それで小学生からありえないくらいの修行をしたからだ
どんな修行って？

想像にお任せします

そして俺は「自由の赤い翼」と呼ばれている

今日は修学旅行で、東京に行く
と言っても東京にいて、バスにいる

いいだろ？（ー）ニヤリ

俺は高校生ライフを楽しんでいる

今俺はバスのなかで親友2人とダウトをやっている
これは盛り上がる

親友B「残念、この30枚全部お前のな」

そういつて俺にみせたカードを見せた

8だった・・・

こいつ（親友B）は俺の親友、相澤直人
あいざわなおひと

直人は俺と一緒になんでも屋をやっていて俺のサポートをしてくれる
一様柔道をやっていて多分持たれたら誰でも負けるくらい強い
歳は俺と一緒にだ「投げる軍師」と呼ばれている
はつきり言っていてカッコ悪いので多くの人は「軍師」とよんでいる
例にヤクザの制圧で人数、地図、脱出経路などなど役に立っている
こいつと話すようになった理由は依頼で助けたら入ってくれた

良「30枚だと・・・嘘だろ？」

30枚って結構な量だぞ
トランプ半数越してるし・・・

直人「ほんとだよ（ー）ニヤリ」

良「クソが！！！！」

親友A「お前っていつも数が溜まったあと外すよな」

こいつ（親友A）は俺の親友、大原雅之
おおはらまさゆき

なんでも屋と一緒にしている

雅之は昔、海外で親と戦争的なサバイバルな生活をしていたため
自衛隊の心得をもっていて、銃や爆弾使っている

例に、俺が前線で戦っているとき、援護射撃をしてくれたり（もちろん死んでいません）

ヤクザの組織の建物を破壊してくれたりする

こいつは「圏外スナイパー」とか「ボムキラー」などとカッコイ名前が多い

こいつも直人と一緒に依頼で助けたら仲間になってくれた

雅之「まあ・・・どんまい、直人ナイス（ヒソヒソ（、、）bグッ！」

良「なに直人に」（、、）bグッ！」ってしてんだよ！てめは鬼か！」

雅之「鬼ですがなにか？」

良「くそおおおお！」

くそ！30枚はきつい俺あと5枚くらいだったのに35枚にちゃったデヘペロ

直人・雅之「「キモイよ」「

良「俺なんか言った！」

直人「あれ？違った？」

雅之「まじで、俺は違つくはないんだと思ったんだけど・・・」

良「言つてねーよ！」

直人・雅之「「違う違うあっちに逝ったんだよ」」

良「感じ違う！てか、あっちなんだよあっちって」

そういうと二人は右手の甲を左のほっぺに持って行って乙女のポーズをとった

良「逝かねーよ！！」

直人・雅之「「なんだ・・・残念・・・」」

良「あんたらは、グルなんか？てかグルだよな？」

直人・雅之「「違います！」」

良「おんなじこと言っておんなじタイミングで言われても説得力ねーわ」

はああ・・・

何回ツッコミ入れたかわからねえや・・・

良「直ラッシュ、雅ラッシュ、僕もう疲れたよ・・・」

直人・雅之「さようなら（＊　ハー。）ノバイバイ」

良「感動の場面だろ！何勝手にさようならとかいってんの！」

直人「だってパ　ラッ　ユニ匹もないし」

良「まあそうだけど・・・」

雅之「だいたい、疲れたなら寝てろって」

良「そういう意味で言ったのかよ・・・」

ピンポンパーンポン

アナウンス「もうそろそろで付きますので荷物を運べるように準備してくださいね」

あ、終わったもうちょっと聞きたかったな

女の人の声好きなんだ・・・

てか声フェチなんだ（笑）

直人・雅之「っと思ってる良がいた・・・」

良「心を読むな！」

雅之「いや声にでたたし」

マジで？

直人・雅之「うんマジマジ」

良「今絶対言つてないだろ！なんで分かんだよ！」

直人・雅之「わかりやすいからに決まってる！！舐めとんのか！」

良「逆ギレかよ！」

そついうなんの意味もない会話が続いたが、

ドガチャン！・・・バツシャン！

と音を鳴らした

そつ、トラックが俺たちが乗っているバスに右から突っ込んできたしかも運が悪く俺たちは橋の十字路（左に行く道がない）に居たぶつかったあと橋から落ちて海に放り出されたのだ・・・

そして俺は死んだのか・・・

プロローグ（後書き）

読んでもらってありがとうございます

いきなりですがアンケートをとります（笑）

アンケートの内容はなんでも屋をやるかどうかということです

1、なんでも屋をやって、管理局からの依頼でリリなのに乱入
2、なんでも屋をやって、自由に3人で暮らす話にしてリリなのはあまりかわらない

3、なんでも屋をやらないで、ゆりかごが出た時危ないと思って乱入

4、なんでも屋をやらないで、ヴィヴィオを見つけて乱入

5、なんでも屋をやらないで、次元漂流者で保護されて乱入

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5009ba/>

三人のHawk

2012年1月13日23時02分発行